16 巨大動脈瘤に収縮剤（黄色の液体）を数回投与し、ガイドラインに沿って瘤を切り離す（巨大動脈瘤→P44）

17 4、5の手順で切り離した動脈瘤の瘤を摘出して治療する（動脈瘤→P43）

18 巨大動脈瘤の瘤を摘出し、血管の血だまりを吸引（巨大動脈瘤→P44）

19 追加トレイにある人工血管を3本の血管のあいだに配置し、吻合部×3を縫合（巨大動脈瘤→P44）

20 **脳の処置4・2人目** E・N 07:07:36 H 07:31:14
術野を脳の右下に移動させ、2の手順で図イのけの動脈瘤を切り離す（動脈瘤→P43）

21 16の手順で図イのこの巨大動脈瘤を切り離す（巨大動脈瘤→P44）

22 2の手順で図イのさの動脈瘤を切り離す（動脈瘤→P43）

23 4、5の手順で図イのけ、さの瘤を摘出して治療する（動脈瘤→P43）

24 術野を脳の右上に移動させ、2の手順で図イのしの動脈瘤を切り離す（動脈瘤→P43）

25 術野を脳の左に移動させ、2の手順で図イのすの動脈瘤を切り離す（動脈瘤→P43）

26 4、5の手順で図イのすの瘤を摘出して治療する（動脈瘤→P43）

27 術野を脳の右に移動させ、16の手順で図イのせの巨大動脈瘤を切り離す（巨大動脈瘤→P44）

28 4、5の手順で図イのしの瘤を摘出して治療する（動脈瘤→P43）

29 18、19の手順で図イのせの瘤を摘出して治療する（巨大動脈瘤→P44）

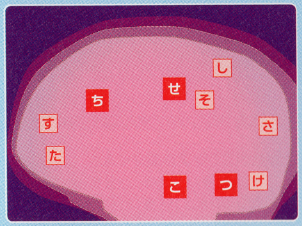
30 術野を脳の右下に移動させ、18、19の手順で図イのこの瘤を摘出して治療する（巨大動脈瘤→P44）

31 **脳の処置5・2人目** E・N 06:15:16 H 06:40:57
術野を脳の右上に移動させて病巣が発生するのを待つ

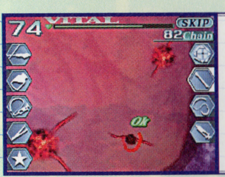
32 2の手順で図イのその動脈瘤を切り離す（動脈瘤→P43）

33 術野を脳の左側に移動させ、2の手順で図イのたの動脈瘤を切り離す（動脈瘤→P43）

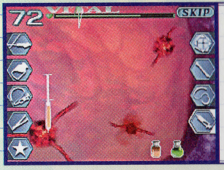
■ 図イ（動脈瘤、巨大動脈瘤の発生場所）



上の図は脳の処置4、5で発生する病巣の場所を示したもの（□が動脈瘤、■が巨大動脈瘤）。記号はチャート表の番号と対応している。



20
脳の処置4でも、発生している患部の瘤をすべて切り離すことを優先。瘤を破裂させるのは避けたい。



21
巨大動脈瘤は成長具合によって収縮剤の投与回数が異なり、出現した直後でも2回は投与する必要がある。



23
動脈瘤をどれかひとつでも最後まで処置して消し去ると、脳の左側に新たに動脈瘤が発生する。



27
脳の処置4で動脈瘤を合計3つ治療し終わると、今度は脳の中央部に巨大動脈瘤が発生する。



28
新たに発生した患部の瘤をすべて切り離したら、残っている患部の血管をくっつける処置に進もう。



31
患部が発生するまで少し時間があるので、そのあいだに術野を移動させる。余裕があればバイタルを回復。

34 16の手順で図イのちの巨大動脈瘤を切り離す（巨大動脈瘤→P44）

35 術野を脳の右下に移動させ、16の手順で図イのつの巨大動脈瘤を切り離す（巨大動脈瘤→P44）

36 4、5の手順で図イのその瘤を摘出して治療する（動脈瘤→P43）

37 18、19の手順で図イのつの瘤を摘出して治療する（巨大動脈瘤→P44）

38 術野を脳の左側に移動させ、4、5の手順で図イのたの瘤を摘出して治療する（動脈瘤→P43）

39 18、19の手順で図イのちの瘤を摘出して治療する（巨大動脈瘤→P44）

40 **脳の処置6・3人目** E・N 05:32:13 H 06:00:35
動脈瘤の周辺に発生している膿×2を吸引（膿→P41）

41 2〜5の手順で発生している動脈瘤×2の瘤を摘出して治療する（動脈瘤→P43）

42 図ウのAの腫瘍周辺に発生している膿を吸引し、Aの腫瘍を切開して露出させる（膿→P41、腫瘍→P37）

43 腫瘍の組織液を吸引しつつ、近くに発生した膿も吸引し、ガイドラインに沿って腫瘍を切り離す（腫瘍→P37、膿→P41）

44 腫瘍の患部を摘出し、切除痕の膿を吸引（腫瘍→P37）

45 追加トレイにある人工膜を切除痕に乗せて定着させる（腫瘍→P37）

46 処置した腫瘍の周辺に発生している炎症に消炎剤（青色の液体）を投与して沈静化させる（炎症→P41）

47 42〜45の手順で図ウのBの腫瘍と周辺の膿を処置（腫瘍→P37、膿→P41）

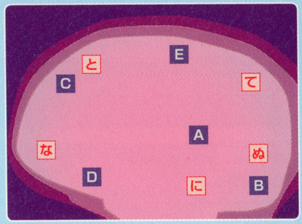
48 炎症をひとつだけ残し、患部に消炎剤（青色の液体）を投与して沈静化させる（炎症→P41）

49 バイタルを80付近まで回復させ、炎症を沈静化させる（バイタル回復→P33、炎症→P41）

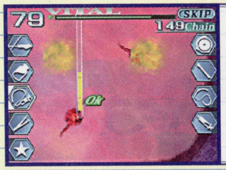
50 **脳の処置7・3人目** E・N 03:51:06 H 04:33:13
術野を脳の右上に移動させ、2の手順で図ウのての動脈瘤を切り離す（動脈瘤→P43）

51 術野を脳の左側に移動させ、2の手順で図ウのと、なの動脈瘤を切り離す（動脈瘤→P43）

■ 図ウ（動脈瘤、腫瘍の発生場所1）



上の図は脳の処置6、7で発生する病巣の場所を示したもの（ひらがなが動脈瘤、英文字が腫瘍）。記号はチャート表の番号と対応している。



40
脳の処置6からは、動脈瘤以外にも腫瘍と膿が発生する。膿の吸引を進めつつ、瘤の切り離しを進めよう。



43
「Cool」を獲得するために、腫瘍の位置を図ウで確認し、エコーは使わずに患部をメスで切開して露出させよう。



44
腫瘍のなかに膿が発生しているので、患部摘出時には人工膜を乗せるまえに膿を吸引しておく必要がある。



48
炎症をすべて治療すると動脈瘤が発生する。ひとつ病巣を残して安全にバイタルを回復できる状態にしよう。



50
動脈瘤の瘤を切り離し処置を終えるころに膿が発生するが、その膿の処置はあと回しにすること。



51
術野を動かすときは、ふたつの動脈瘤が見える位置まで移動させ、続けて瘤の切り離し処置を進めたい。